



VIVA/

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり

'75花と海と太陽の祭典



# いきいき 神戸まつり ダ。



☆座談会 出席者

長島 隆 〈神戸市市民局長〉

妹尾美智子 〈神戸市婦人団体協議会事務局長〉

福田 義文 〈生田神社官司〉

永田良一郎 〈永田良介商店社長〉

★まつりはアホウにならんと気分が出ないヨ

長島 昨年の神戸まつりに私生まれて初めて神戸っ子のサンパチーにまじって参加したんですが、まつりというのはやっぱり自分が参加して一役になうというのは楽しいな、という気がしましたね。そばで見るとるよりも自分がやる方が何ととっても楽しい(笑)。

実は今年の全所帯アンケート調査というのがあって、40万所帯に対して12万所帯、つまり50万人近い人たちが意見が寄せられてるんですが、それをみますと神戸まつりの中央パレードを見に行ったとか、テレビで見たとかいう関心のある人たちは64パーセントあるんですね。しかし各区のまつりに対する関心層は20%しかないんですよ。

それから神戸まつりを「ええな」と思って肯定してる人と「しょうもない」と否定的な答えをしてる人の比率は半分半分なんです。各区のまつりには関心がないけど中央パレードには関心をもっているようなので、まあ市民はこのまつりに相対的に肯定的だと見ていいようですね。だからみんながちょっといいひっかけでこのまつりに参加してもらうためにはどうしたらいいか、そのムードの盛り上げ方ですね(笑)。それは金かけるいうのとは違った問題ですよ。

永田 私、先日ニースのカニバルを見てきたんですがパレードはフロートが中心で神戸のまつりとは全然違うんですね。

今、長島局長からお話がありましたが、パレードには64パーセントの人が関心があるのに各区の行事に関心ある人は20パーセントしかないというのはやっぱり問題やと思いますね。そんなに各区のまつりに関心がないんやったら中央のパレードに何もかも集中してもっとウィッツとやったらどうですかね。ニースはパレード一本なんですよ。道路を完全に封鎖して、入場者からはお金とって

るんです。そして見てる人とパレードをやってる人との間にはたえずやりとりや交歓があるんですね。神戸まつりの場合はパレードと見てる人とは完全に分かれてるんですが、ニースではフロートから観客の中に入っていった紙ふぶきをぶついたり、また観客がフロートに紙ふぶきを投げつけたりして混全一体なんですね。神戸まつりのパレードも警官が規制するだけでなく、もっとパレードと観客とが交歓できるような工夫をこらしていけばいいと思うんですがね。

**福田** 日本人ほどまつりの好きな民族もいませんね。日本のまつりとヨーロッパのまつりは全然形態が違って、日本人ほど喜びにつけ、悲しみにつけ酒を飲んでまつりをする国民は珍しいですね。さつき長島さんが、まつりは自分が参加する方が楽しいとおっしゃいましたが、日本の芸能は見てもらうよりも自分がして楽しむことに意味があるんですよ。踊りでも「踊るアホウに見るアホウ」といいますが、まつりはアホウにならないと気分がでないんですね。まつりの原点はやはり歓喜の表現で、神や自然の恵みに感謝する気持があって、我々の日常生活が感謝に満ちていて、これからもエネルギーを貯えてがんばろうという気持の表現なんですよ。

**妹尾** さつき局長さんが神戸まつりに対する関心と無関心が五分五分だとおっしゃいましたが、五年めを迎えた神戸まつりに対する市民の感情がわかるような気がしますね。というのは今がヤマ場でこれからのまつりの方向が大切だということです、私は中央のパレードが神戸まつりのすべてだと思われるのは心外で、むしろ各区のまつりがもっとワークと盛りあがって、中央のパレードはしてもしなくてもいいぐらいの感じにもっていく方がまつりとしてはおもしろい形になるんじゃないか、という気持は最初からもってるんです。マスコミがパレードだけに力を入れて報道されるので神戸まつりというと中央パレードだけのような感じをもたれますが、本当に参加するという感じからすれば身近な区のまつりをもっ

「まつりは見ると  
よりも自分で  
やる方が楽しいな」

長島 隆さん

と盛り上げていく方がいいという気持を終始もってるんです。この前サンテレビで神戸の若い人たちと話をしたんですが、彼らは「どうも今の神戸まつりを見てても自分たちはピンとこない。昔のみなとまつりの方がピンとくる」というんです。それで今度の民謡パレードの時に「みなと音頭」を入れて、観客に手拍子をうってもらうようにマイクでよびかけ、沿道の人たちとの交流をはかるようなことも考えてるんですよ。

**福田** 私はまつりというのはやっぱり集中せなアカンと思いますけどね、分散すると弱くなるんです。祇園まつりでも神戸まつりでもうちの生田のまつりでも38年になる「各区のまつりがもっとワークと盛りあがってほしいですが……」

妹尾美智子さん





んですが、生田の八万戸のひろい氏子のどこに集中するかという元町なんです。元町だけみたらあとはエエというぐあいにやっぱり集中することですね。人のいっぱいいるところで踊ってこそやはり楽しいんですよ。

永田 まつりのやり方自体に問題があると思いますね。区の方に顔を出しても民生委員のおじさん連中とか婦人会のおばさん連中が出てきて自分らのやりたいことだけとりあげてやってる今の区のまつりはダメだと思わんです。

私らの若い頃は町内で山車を出して少なくとも町内は全部まわったんです。ハッピー着て太鼓たたいてやってたけど、それは年中行事でどうしてもやらないかんこっちゃと思うてやっとなら。山車についてまわっていつしよに踊ってお菓子もろたりした経験があるんです。昔のまつりには町内のそういう交流があったんですが、今の区のまつりにはほとんどそれがありません。だから区のまつりも以前の「みなとまつり」みたいにみながやってくれるようになればいいんですけど、交通事情やいろんなことで昔のようなことが望めないということになるとどつかを一日なり二日なり開放して、そこへみなよってこい、そこへくりやあ何しようが自由やという場所をつくる方がええんやないでしょうか。

ニースは小さいところなんです、プラザみたいなところに観客席をもうけその周りをぐるっとパレードが回るだけなんです。そしてみんなどっかへ散ってしまわんです。そのかわりその場所にはものすごい金かけるんです。観客との交流も手拍子だけでなしに、いっしょになつて踊るようなことも考えられませんか。

妹尾 それをやると警察が止めますね。だから一番最後の神戸っ子サンバチームの踊りがみんな飛びこんで踊れる時になるんです。

福田 外国のパレードとは同じようにいかないですね。でもまつりの演出は成功しているとボクは思いますよ。現場に行かなくても各家庭でみんなテレビでみえますし

「アホウにならんとまつりはでけん」

福田 義文さん

民放で半日もまつりを、中継するのは他にないそうだしね。

妹尾 前夜祭あたりからあそこへ集中されてきてますからね。

長島 各区の行事が前夜祭でワーツとやってその最高潮が集中すればいいんですけど、前夜祭の各区がさびしいね。

永田 プロデュースする人がいないと難しいですね。

長島 兵庫は湊川公園でうまくやってますね。

福田 あそこは中央みたいのもんで、成功してますよ。

長島 まつりに参加してやってる方と見る方との交流で

「もっと観客との交流を考えんと……」

永田良一郎さん



も、子供が喜んで見に行ったら沿道の家の人も子供にお菓子やったりジュースやったりする、そういう交流が今はなくなってきたね。ダンジリなんか家の前に止まると周りから「ご苦労さん」いうてお菓子なんかもってきて子供にやるというふうな演出がなんとかできんもんでしょかね。

福田 多少金にかかるけどやりたいですね。ただ小さな地区だとできるでしょうが、大きくなりすぎるとどうでしょうか。

### ★まつりをしたらケンカがおさまる

長島 フラワーロードに集まってくる人の四分の一くらいは神戸市外から来られているようです。

福田 それはまつりがおもしろいからですよ。ショウが立派でないとわざわざ遠くから電車賃つかってきませんよ。人が集まれば食堂から喫茶店から商店街もうるおひますしね。消費がともなつて金がもうからなんだらまつりもダメですよ。もうかるようになれば電鉄も商店もまつりに力を入れるようになりますよ。

妹尾 せっかくよそからお客さんにまつりを見にきていただいても今の状態では混雑して見ていただく場所がないでしょう。ですから遠くから来られる人のために見る場所をつくったら、という感じが毎年するんですけどね。

永田 スタンドのようなもんがいりますね。

妹尾 見る方も大変疲れますから。

長島 須磨の離宮公園も大変だそうですね。何万人集まるのかしらないけど公園がパンクするいうて警察も心配しとるぐらいです。

福田 兵庫の淡川公園もすごいですね。

妹尾 須磨も兵庫も中心になってやる人がいるからあれだけ人が集められるし、成功するんですね。やる人の少ない地域が問題なんです。

長島 地区を盛り上げるには、昔は花電車とか花自動車がずーっと全市まわって雰囲気をつくり出していましたが、今はそれがなくなってるでしょ。

妹尾 市バスに装飾をして走らせるわけにいかないんですか。

長島 今年はそれも考えてるようですが、一台電気をつけて装飾すると何百万円もかかるそうです。

福田 昔は花電車が来た、いうと子供がワーツと出ていきよったね。それで雰囲気が出てくる。

永田 ニースのカニバルだとコンダクターのような黒いガウン着た絶対の権威者がおるんやね。そのオッサンが何かいうと絶対にその通りにせんならん(笑)。

長島 神戸まつりでもそれをやったらどうやろう。最高の指導者、というかまつりのシンボルのような人を一人おいて、その人のいう通りにせんならんというのは。

永田 たえばパン屋のオッサンがその日だけは絶対の権力をもつて、あくる日になったらパン焼いとるというのが平気で行なわれとるんやね。それは市民意識がそこまで発達しとるからやね。

妹尾 そうですね。でも日本ではまだそれをやってもダメですよ。

永田 日本は規制がつよすぎますね。

妹尾 やっぱりケガ人が出ることを一番恐るわけですね。

永田 誰の責任になるかということですね。まつりのケガぐらい交通事故にくらべたらどうってことないんやけど。

福田 昔はみこしやダンジリで一人や二人はかならずケガ人出てましたよ。ケガ人出るのを恐がつとつたらまつりできないですよ。

永田 芸術広場でも一部の人だけのものにするんじゃないくて、白い紙でも貼って置いて子供に好きなのを描かせるラクガキ広場をつくったらどうでしょうね。

妹尾 兵庫では自動車を一台もっていつてラクガキやつ





テレビでおなじみの「ダンパの冒険」で〜す。パレードにぬいぐるみが登場。チビッコたちの人気のまとなりそうです



“ミスター・ハッサン”3mの高さで自由に動いて言葉をしゃべります。初登場です

さまるいうのが日本のまつりの特色ですわ。まつりにケンカがつきもんいうのはそれですよ。だから日本というのはそんなに拒絶反応いうんがなくてきてるんです。

#### ★紙ふぶきでみんなの交流を

**長島** まつりの当日だけでもパレードの沿道のビルの二階、三階あたりを有料で観客に開放してくれたらまたムードも盛りあがるでしょうね。そして、その上から紙ふぶきを投げてもらうとか(笑)。

**福田** 紙ふぶきはたしかに雰囲気づくりにはいいですね。

**永田** ニースでは紙ふぶきを売ってましたよ。行列に投げるんじゃなくて観客同志で投げあうんです。真面目な顔してるおばあさんが知らん顔してチョコッと近くにいる人に投げるんですよ。まつりいうのはやっぱりふだんできんことがやれるというのが必要だと思っんですね。

その投げあう紙ふぶきいうのは袋に入れて売っとなんですが、だんだん後になるほど値下げするんです(笑)。

最初三フランぐらいだったのが、まつりも最後の方になってくると「一フランやノ」いうて売ってる(笑)。まつりが終って帰る途中でもまだ投げ合いしとるから、あくる日になると全身紙ふぶきだらけで肌着の中まで入っとなる(笑)。

**妹尾** 紙だったら投げ合っても危くないしね。

**長島** それけなかなかおもしろいね。華やかだし。

**永田** 感心したのは夜十二時すぎにまつりが終わると夜中に清掃車が出てその紙ふぶきを全部回収して、あくる日は全然紙ふぶきがなくなってるんですよ。

**妹尾** まつりのあととはどうせ清掃はしないといけませんから、今年はこの紙ふぶきを一度考えてみていいですね。

**長島** そうですね。ケガはしないし、一つの絵になりますからぜひやってみるものですね。

## 経済ポケット ジャーナル



### ★神戸経済同友会

本年度通常総会開催  
四月十一日、神戸銀行倶楽部（生田区京町）にて、神戸経済同友会昭和五十年  
度通常総会が開かれた。



講演をする糸川英夫さん

午後三時三十分から、昨年度事業報告、本年度役員の選任などが行われ、五時三十分からは役員就任パーティが、その後、糸川英夫氏（組織工学研究所長、工博）の講演があった。

### ★三宮ビデオセンター

#### 開設

映像化時代におけるボストカラーTVの期待にこたえて登場したVTR（ビデオ

オテープレコーディング）システムは今非常に広い範囲で普及しつつあるが、この春ソニーVTRシステム

の操作活用を直接ためしてみたい人のために三宮ビデオセンターが開設された。テレビ裏番組の録画、録画テープの鑑賞、ビデオカメラ接続による自主番組の製作、簡易スタジオでのソフトテープの制作などを専門のコンサルタントによって指導してもらうことができ、VTRショールーム兼ビデオサロンとして気軽に利用できる。

神戸市生田区江崎町九五

（〇七八）三三二一六三八五・六

### ★兵庫駅南に

#### 株サニメイト誕生

兵庫トヨタ自動車株は関連事業の拡充発展を計るため、国鉄兵庫駅南側に株式会社「サニメイト」（滝川博司社長）を設立するとともにマリン事業部を分離独立させ、新たに兵庫トヨタマリン株式会社（福岡保一

社長）として発足させ、いずれも三月下旬より営業を開始した。南フランスのコートダジュールを思わせる華麗な建物のなかには、コーヒーショップ、フイッシュングショップ、グリーンショップ、マリンショップなど、カラフルな店内はレジャー用品が勢揃いし、楽しい店として親しまれていく。

神戸市兵庫区入江通五丁目五番地  
（六八一）六七八一番

### ★神戸商工会議所中央支部

#### 開設さる

神戸商工会議所は昨年十月に東神戸、兵庫、西神戸の三支部を開設したが、さる四月一日には中央支部がオープンし、三宮支所を含めると、商工会議所の出先機関である支部、支所は市内に五カ所となり、会員へのサービス体制が一層充実された。

（二五一）一〇〇一

神戸市鈴合区浜辺通五丁目一四  
商工貿易センタービル地階



神戸商工会議所中央支部事務所

### ★KOBEOフィスレディ★



広田由美子さん（長田区）  
株式会社星電社広告宣伝部

ひょうきんで明るいお嬢さん。高校のときから商業美術を勉強し、今やっている仕事がPOP（POP）の装飾なので、満足そうな様子。受持ちのコーナーの装飾が、一番たのしいのは自分で満足行く仕事ができるとき。スキームとえじこマンといわれても……。テニスはどうかといわれ大喜び。帰りに、クーラーはどうですかといわれさすがに宣伝部と感心しました。（県立神戸商高卒）

MAKE UP WITH ROYAL

# 50年の 伝統と信用 を誇る

度付サングラスお誂えの絶好期  
です



 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

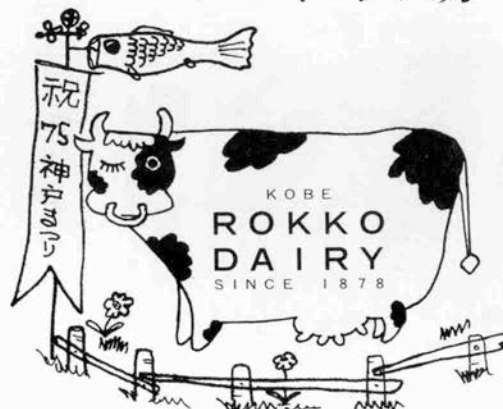
元町店は毎水曜日がお休みです

三宮店は第2、第3水曜日がお休みです

# フレッシュな味。

神戸生れの

## 六甲牧場



★喫茶店・洋菓子店に！  
牛乳

生クリーム

ケーキ用クリーム

コーヒー用クリーム

各種アイスクリーム

ソフトミックス

★ご家庭に！

ヨーグルト

プリン・ジュース

フレッシュ牛乳

株式会社  
六甲牧場

神戸市灘区篠原南町6丁目1-25

〒657 電話神戸(078)801-6000(代表)

★ご用命しだい営業マンが気軽にお伺いします。





VIVA!

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり

西澤  
「フリーアナウンサー」  
樟

# オツチヨコチヨイ で底ぬけで!

▶オツチヨコチヨイの見本といおうか、何といおうか

◀左はしが西澤アナ 頑張ってます



「花と海と太陽の祭典 第五回神戸まつり 中央祭典の開幕です。」まつりの始球式ともいえる、この開幕をつけるアナウンスを担当している私は、毎年、本当にいい気持です。

華やかな中央祭典のステージで真珠をちりばめた王冠をおくられて百万ドルの笑顔をみせるクイーン神戸のお嬢さん達にマイクをむけるのも役得というものでしょう。人込みがあまりすぎでない私でさえ、神戸まつりに酔いしれる人の群れは好ましいものです。

よちよち歩きの頃から、「みなと祭」で踊り、花電車やミス神戸に目を輝やかしながら成長していった自分をふりかえるとき、神戸に生まれ育った幸せを感じるので

す。

つい先日、宮崎市長とサンTVの「朝の訪問」で対談をしたさい、神戸っ子の市長は、「神戸っ子のいちばんよいところは？」という私の問いに、「おっちょこちよいで底ぬけに明るいことだ」と答えられた。私もまったく同意見。その答えは、私そのものだったからです。そんな神戸っ子が企画し、参加する「神戸まつり」が、これまでの「まつり」とくらべて、ひと味もふた味もちがうのは当然で、東京や大阪に住む友人が、口を同じくして、「東京や大阪では条件的なハンディもあるが、こんな見事な市民の団結力は望めない」と舌をまくほど、他の都市では真似のできない、神戸っ子が世界に誇りうるすばらしい「まつり」ですね。

しかし、「まつり」も五回目をむかえると、いろいろ考えさせられる点が出てくる。

「サンテレビでパレードを見ていたら、居ても立ってもおられんようになったので三宮へ出て来て人をかきわけて見てたら、だんだんしんどなったので、家へ帰ってテレビつけたら、まだ行列やってんね。長いなあ、西澤さんつかれたやろ。」

昨年、神戸まつりが終わった翌日、有馬に住むという神戸っ子が、私の肩をたたきながら話してくれたのです。





▲愛さようをかりまいていても音程は大丈夫なのです

▶フラワーロードをクラシックカーでスーパースイ



この話は、神戸まつりのパレードの長所と短所をよくい  
い当てていると思います。彼はけつして長すぎると非難  
しているのではないのです。このパレードは、ぜひ自分  
のナマの目で見たいと気持をおこさせるにじゅうぶんな  
魅力を持っています。でも途中でしんどくなっているの  
です。なぜか？

一つは観覧席の問題。人間の忍耐力には限度がありま  
す。人の頭越しにつま先立って見物できるのは、せいぜ  
い二時間。

やはりフラワーロードの周囲に機数席のようなものを  
設けるなどして、踊るあほうより断然多い見るあほうの  
立場を考えるべきではないでしょうか。

いま一つは、パレードの構成です。ご婦人のユカタ行  
列にはじまってサンパで終る……毎年ほとんど同じ台本  
になってしまいました。

何かとび出すかわからない。形のない祭りという「神  
戸まつり」の基本的な姿を、もう一度よびもどしたいも  
のです。

パレードより、東遊園地での若者達によるお祭り広場  
の方がうんと楽しかったという若者達の声を聞いたとき  
昨今のシラケムードの若者達にうんざりし、ぜったいに  
若者の考えに迎合しようと思わない私でさえ、その楽し  
さが何であったかをよく分析してみる必要を痛感するも  
のです。

でも祭りは、あまり深く考えないのがいいのかもしれ  
ないですね。

まだ歴史も浅く総てに未知数の多いお祭りなんですか  
ら、もっともつと自由に、のびのびとコミュニケーションの輪  
を広げるまつりであってほしいと願います。

かく申す私でさえ、今年はどんな美しいクイーン神戸  
にお目にかかれるかとそのことばかり楽しみに……。

開幕を告げるアナウンスは、いよいよ秒読みに入りま  
した。



VIVA/

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり

＜ファッションデザイナー＞

藤本ハルミ

# お祭ファッション 秘大公開！

▶ 思い思いの気ままなファッション



◀ いつもファッションナブル、藤本さん



はじめてまつりに出たのは、神戸まつりの生まれた前年、「神戸カーニバル」の時だった。なにしろテレビにテレビで恥かしさにまるでアフリカのマサイ族みたい顔に顔中赤や青でくまどりし、特別製の超ボインを作り、「ファイブビューティーズ」と五人が大根足をアプリーケしたスカートの中にくっついてはいり出場した時は、「あれは絶対男やでえ」など見物人にいわれてヒカシしたものだった。ちょうど万国博の年だったのでインドネシアの美人舞踊家達も参加していた。彼女たちが妙な音楽とともにまるで天女のように通り過ぎたときは、ガツクリして「来年は絶対美女美女で出るゾ」と決心したのだった。それ以来神戸まつりが近づくといく人位のおまつり好きの一味が集まって、特製のドレスを衣裳屋さんに注文する。出来上ってきたドレスを、各自が持ち帰ってまつりの当日までの数日間を、モクモクと秘密で飾りつけに打ち込む。

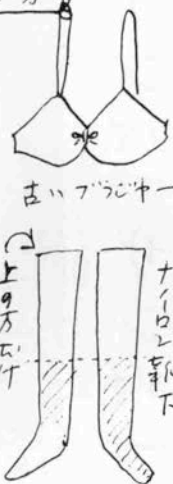
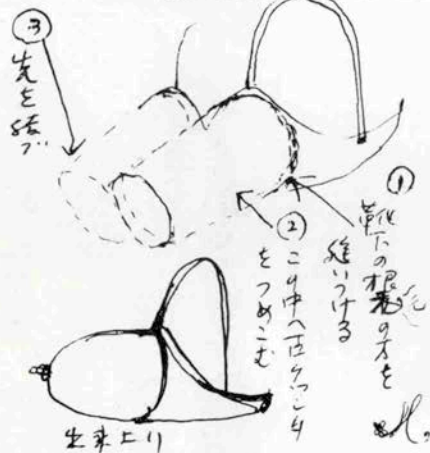


▲今や伝説(?)と化したファイブ・ビューティーズの図解。本邦初公開！

さあ当日には、あまりの美しさに当人が一番シビレて「私が一番美しい！」と口々に叫んでいる。第一回の神戸まつりはフランス人形みたいなのに、とウエストから裾まで段々にキャザーを一杯入れたオーガンジのスカート、ボディはサテンで衿を大きくあけ、頭には銀色のクラウン、それにオーストリッチの羽根を



# ウルトラ・ボインの作り方



## 第3回 神戸まつり



▲第1回、第3回神戸まつりのときのファッション。  
今年はどんなファッションが飛び出すか？  
主役はあなた自身なのでぞ。

◀ウルトラ・ボインの作り方。実際に作ってみると分る  
が実に生々しい迫力が出る。さあ、これで神戸中の男  
性を悩殺するのだぞ！

ゆらゆらさせて前年とは打ってかわって輝くような美しさで登場、見物人をアツといわせたものだ。

以後、毎年十人以上の出場になるので、各人がサンブルで色を選び、「私は赤！」「私はキイロ」と早いもんがちで色の取り合いになる。のんびりしている人はいつも残った地味な色ばかり続くことになって、ブツブツ文句をいながらあきらめさせられている。

第一回第二回と、長い裾をひくデザインを二年続けてみて、一つの発見があった。なんといってもあの強烈なサンパを踊るのには裾が長いと充分に踊れないのだ。三年目にはツートンカラーで男性はパンタロン、女性はスリムな型にしてドレスを短かくした。そのかわりムギワラ帽子を作ってるおじさんにたのみこんで、直径一米もあるうかという大きなつばの帽子をつくり、花や果物や羽根で飾った。この帽子がナカナカの迫力で、後から若い男の子たちに「その帽子オクレエ！」と、引っぱられたものだ。昨年は足首が充分見える長さのダンスドレスを作ったが、型がドンドン小さくなっていくのが面白い。これは私達がまだまだ体力があるという証拠で、もつと年をとったら身うごきのできないくらい豪華版の衣裳をきて、車に乗ってひっぱってもらおうと話している。それもまた楽しいわ。フフフ……。

さて、そこでまつりのパレードに出場する私達はもちろんだが神戸まつりの日には見物に出てくる方も、ふだん一度あんなの着てみたいと思ってもちょっと抵抗があるというような服をこっそり手作りで作ったりして、すごくユニークな格好でまつりを見にいこうというのはどうだろう。イースターあけのアスコット競馬場みたいになにに一度くらいいまち中「おまつりなんだモン！」と神戸っ子達がそれぞれスターになって、「パレードより見物人のファッションの方が面白いでえ」といわれるようになったらどんなに楽しいだろう。それこそ本当にファッション都市神戸のおまつり。

神戸こそそんな期待の持てる街なんだがなあ。



VIVA!

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり

〈タレント〉

# サンバ・サンバで スタコラサッサノ!

竹村 まこと

▲マイク片手に竹村さん

▶ナベ・カマ・ヤカン、何でも楽器になるのだ!



つらつら考えますに、日本人ぐらい祭好きの人はいないのところがいますか。毎日、日本のどこかで祭があって、その祭を見て廻ったとしたら何十年もかかるといわれているんですからね。ボクもその日本人。それも特別メダク製造されている人間だから祭という言葉聞いただけでソワソワムズムズしてくるんです。

東に祭があると聞けばホイホイ出かけて行き、西に祭があると聞けば8ミリかついでスタコラ出かけて行く。

今迄撮った祭りの記録映画の数も幾千本。(オーバーやなそんなにあるかいな)

ともかくにも8ミリに撮っておくとも何度も楽しめるのでメッタヤタラとフィルムを浪費しコダックさんを儲けさせています。これも祭の楽しみ方の一つだと思えますし記録が残るのでええ事やないかと思うんです。(神戸のみなと祭の花電車なんかもう見られん)

ところがボクが8ミリを撮る際の条件があるんです。それは後継者がいなくてその祭りがほろびてしまいうなという場合。(今迄に消えてしまった祭も数多くあるんです)

今のうちに撮っておかなアカンと思うんです。それから動きの少ない祭りは駄目。動きのあるカラフルな祭ならジャンジャンフィルムを使います。

ところで、神戸の祭といえば、秋になると「神戸のみなと」は街から街へヨイヤサ、という調子のよい音頭と共にやってきたみなと祭、よびものの懐古行列、国際パレード、花電車、カラフルな条件にはピッタリでよく8ミリカメラを廻したもんです。しかし、テンポがのろくて何かものたりなく思っていました。そんな気持がボクだけやなかったんです。市民の中から見るだけの祭はあきてきた。それよりも参加出来る祭という声が出て来て神戸まつりに変身したんです。

その第一回目の神戸まつりがものすごく好評で、老いも若きも、浮かれ出し、世界各国の人達も参加し、手を手をとり合って楽しく唄い踊り、祭としては最高のムー





▶ 迫力いっぱい、本場のサンパノ  
踊って踊って踊り狂うのだ、ビバ、サンパノ



ド、特にサンパには神戸っ子が熱狂し若いエネルギーが一気に爆発した感じで「これやこれや、祭というものはこれでないとかカンワ」と思いましたネ。

僕は司会者という職業柄、どうしても前夜祭はビジネスオンリーでみんなと一緒にさわぐという訳にはないんですが、それでもけっこう司会をしながら楽しんでます。

司会をやっているのはクイーン神戸の方がしつかりしたあいさつをされた時、インタビュの時にこやかに答えてくれた時、そんな時、ああ今年のクイーン神戸は豊作やなと思うんです。

それに各区で行なわれる素人の演芸会で本当に楽しそうにやっていたら出演者を見ると、ほほえましく思います。こんなに祭を楽しめるようになったのも、神戸まつりになってからだと思うんですが、どんなにええ企画でも何年か続くとあきつっぽい現代っ子にはそろそろ神戸まつりもマンネリ化してきたような気分になってるのところがいますか。

何も外国のようなスマートなパレードなんかの真似をする必要ありませんが、パレードなんかも、ただ変わった格好をして歩くだけではなくて神戸っ子のセンスはこんなもんやと自慢出来るユーモアのあるものにしてほしいと思っています。

不景気不景気いうてる今年ですが、せめて神戸まつりぐらいパーツと景気よくねがいたいもんです。

みんなで趣向をこらして本当に楽しめる神戸まつりにしたいもんですネ。見ているお客さんからこんな声がとびだしてくるような。

ブラボー神戸っ子、ブラボー神戸まつり!!……と。



VIVA!

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり

田中 徳喜

# ブラスバンドは まつりの華

はな

▶エー、水兵帽はいかが？ 男らしく見えますよ

▲右はしが田中さん



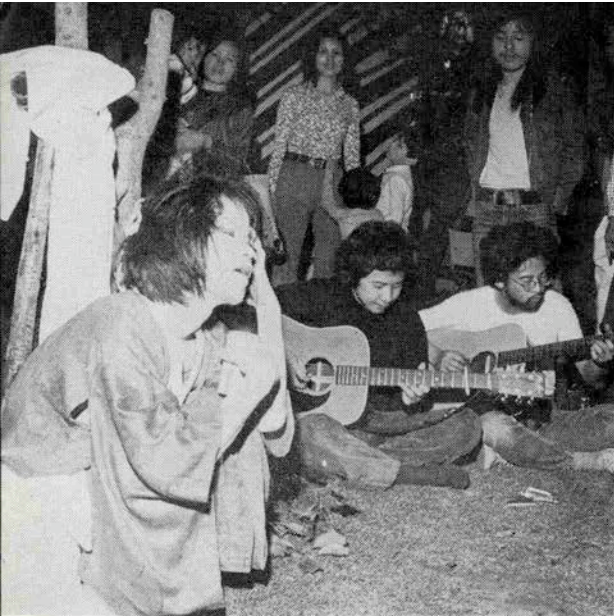
「神戸まつり」。兵庫区の「はっぴいひろば」のまつりづくり。第一回から私は参加し、中央の芸術広場、壁画にも第一回から参加しています。まつりも年々参加者がふえ盛大になり「はっぴいひろば」も北区が出来、二つに別れましたが、参加者も老人から若い人、子供と回を重ねることにふえてきており私達まつりをつくっている者にとってはうれしいことです。

中央の芸術広場も東遊園地北側の児童公園での第一回会場から二回、三回と場所を変え、去年新しく市民のいこいの場として生れ変わった東遊園地の一部が第四回の芸術広場の会場となって、なつかしい児童公園もなくなり、樹木の数が以前よりぐんとふえ、彫刻、噴水もあり楽しい緑の多い公園になりました。その会場で、毎年白い水兵帽に絵を描き続けて来たように私はもくもくと絵を描きました。その水兵帽の絵も、怪獣から仮面ライダー、パンダ等とその年のマンガの主人公を描かれそれの移り変わりように追いつけなくて苦労しました。

このようなことです。から私は、パレードをまだ完全に見たことはありませんが、音は聞えてきます。ブラスバンドの行進などは、はっきりとわかります。パレードの先頭を行くブラスバンドの音はどこで聞いても良いものです。

去年、ロサンゼルスボモナ市で開かれたロサンゼルスカウンティフェアに私は参加しました。このフェアは毎年九月の中頃から二週間程開かれています。会場には、競馬場もあり、モノレール、広くて大きな遊園地があつていくつもの展示場には農作物や、いろいろの商品が展示、即売されています。その会場のメインストリートを毎日のように地元のハイスクールのブラスバンドがパトントゥアラを先頭に行進し、そのユニホームがおとぎの国に出てくる兵隊のユニホームのように色彩も豊かで明快で、かわいらしく非常に美しく、すばらしいポリウームのある音で堂々といかにも楽しく誇らしげに行進していました。





「ギターのエレジー」にのってよく泣きずれます。これ、芸術作品なの



「二紀会の連中もアノ手コノ手で売っています

「神戸まつり」のバレードにもこれだけのたくさんの方の学生がバラスバンドが参加すれば迫力のあるバレードになるだろうと思ひながら毎日見ておりました。

そして今年「はっぴいひろば」に参加してもらうバラスバンドを集めるために私達は苦労しております。将来、市内の学生バラスバンドがこのまつりのために練習を積み重ねて堂々と参加してほしいと願っております。

このフェアには車椅子で会場に来ている人達が多いのに驚きました。「神戸まつり」ではまだ私は見たことがありません。これからもそういった人達にもどしどし参加してほしいものです。

毎日平均して五、八万ぐらいの人々がこのフェアに集まり多い日には十万を越します。

その人達の落とすゴミのことですが、フェアのキャラクターである豚を描いた紙のゴミ箱がたくさん配置されており、皆、必ずそこへゴミを捨てます。

そして三十分ごとに若い人のグループがそれを収集し新しい箱を置きゴミがゴミ箱からあふれないように常に清掃をしておりますのでゴミが見あたらないのにも驚きました。

そのため、芝生も美しく、緑が会場をやわらかくつんでおりました。そんな会場で、私はその年の五月に行われた「神戸まつり」の新しくなった東遊園地での芸術広場で多くの人々に踏みつけられた数多くの無残な苗の姿を思い出しました。

米国・日本と所が違っても、どちらのまつりにも植木市が開かれ、緑を求めて同じように人々が集りそれを買って帰るのですが、何故、芸術広場の緑だけがあわれな姿にならないのかなのかと思ひながら、今年も「はっぴいひろば」のまつりづくりに参加し、やはり例年通り植木市は開かれます。



VIVA!

'75 KOBE MATURI

★私の神戸まつり

〈音楽プロデューサー〉

末広 光夫

# 雨乞いにはじまる 神戸まつり

▲かわいい、かわいい動物たち。フリーバザールにて



▲プロデュースに余念のない末広さん



「何しろですネ。四万人の観客の前で歌えるんですよ。魅力でしょう！ あなたの芸能生活の中では、滅多にないチャンスですぞよ！」と半ば威しにも似た口説き文句でタレント交渉をスタートするのが、神戸まつりの前夜祭的な呼びもの「須磨音楽の森」である。

ところが、相手のマネージャーもさるもの、「四万人を収容する会場というのは野外でしょうネ。もしも当日雨が降ったらどうなるんですか。翌日に延期となると、タレントは二日間の拘束になりますな——」この一語で立場はたちまち逆転して、「えー何ぶんにも一般の興業と違いまして、市民のおまつりですから、二日間のスケジュールを押さえるだけの予算までは残念ながら……」

でも例年不思議と神戸まつりは雨が降りませんので、多分今年も大丈夫だと思ひまして……；できることなら何とか」と商売人よろしく揉み手をしながら相手に頼みこむしかない。

五月の気象というのは、専門家の気象台にきくまでもなく、昔から必ず三日周期で雨が降ることになっているのだから、「神戸まつりは雨が降らない」とはいっても信用されないのが当然である。

そうこうするうちに、まつりが近づく週間予報はもとより毎日の天気図とにらめっこをしながら雨乞いはじまる。

「バレードに雨を降らせないで」というのは、ミュージカルの歌の文句にはあるけれど、神頼みの言葉には見当らないようだ。そこで、こちら「どうか雨が降りますように。ただし、勝手ではございますが、木曜日から金曜日にかけて降らせていただきますのでございます」。





▲ファイアサービスでまつりは幕を閉じる。青年広場にて



▲音と光の祭典。それが、須磨音楽の森なのだ

▼須磨離宮公園の上に大輪の花が開く



ただいま人間社会におきましても週休二日制が施かれて  
おりまして、大土曜、日曜がお休みですから、そちら  
様もできるならば、私どもにあわせてお休み願うのがい  
いのではないかとも思っています……」

こんな勝手な口上が雨の神に通じてか、過去四回の神  
戸まつりは晴天つづきで何よりというわけである。

もちろん、今年も晴れるだろう。いや、晴れることに  
なっている！

前日の雨に洗われて、須磨離宮公園の緑が一層美しく  
映えるあの光景が今年もみられますぞよ。

〈呼びものご案内〉

五月十七日午後五時三十分から八時まで。消防音楽団  
のファンファールで開始。岩崎三郎民謡グループ、小曾  
根実、伊藤隆文、今陽子、松田かなな、フラワージョッ  
プらの音楽と歌、そして、夜空を彩る花火の数々。

初夏の夜を存分にお楽しみ下さい。